

						授業コード*	8127		
授業科目	機能看護方法4 (包括的マネジメント) Management in Nursing 4 Comprehensive Management in Nursing	責任教員 橋本 麻由里 古澤 幸江	単位数	1	科目区分	自由	科目履修	不可	
			時間数	22.5	開講セメスター	8			
目的と目標	<p>看護専門職は、対象のその人らしい生活を実現することを支え、対象の自己決定権を尊重し、全人的なケアを行う責任を担っている。これは、対象の生き方や人生そのものに深く関わっていくことであり、今必要な看護のみでなく、保健医療福祉分野をつなぎ、他職種と連携・協働して地域での生活を保障していくことが求められる。</p> <p>目的：保健医療福祉連携において、看護専門職は、利用者中心にケアが提供できるように、包括的な責任を担い、最善の意思決定をする必要があり、これを包括的なマネジメントと捉える。1年次から3年次に学んだマネジメントの統合をはかり、卒業時には看護専門職として広い視野で考え、保健医療福祉連携において主体的に看護を実践するために基盤となる能力を育成する。</p> <p>目標：本授業では、幅広い見地から最善の意思決定をし、その実行と責任（説明・結果）を果たすために、包括的マネジメントを理解し、看護専門職として自ら担うべき役割を考える。</p>								
回数	学修課題	内容並びに方法						担当教員	
1-2	I 導入・看護専門職の機能と責任  1. 社会の動向と看護専門職の機能	<p>本科目の目的・目標、および進め方についてガイダンス</p> <p>社会の動向をふまえ、看護専門職の機能と責任について理解を深める。 (講義)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・医療、介護の動向と看護専門職の機能</li> <li>・求められる看護活動とその評価（診療報酬としての看護の評価）</li> <li>・卒業研究の実習体験を振り返り、利用者中心の看護実践における看護専門職の責任とは何かについて考える。</li> </ul>						橋本 (機能看護学教員)	
3-4	II 保健医療福祉連携における包括的マネジメントの理解  1. チーム医療・チームケアの実際と看護の役割  2. 地域包括ケアにおける看護の役割	<p>卒業研究の事例等に関して、他職種等と共にカンファレンスを行ったり、他職種と協働して実践に取り組んだ体験やインタビュー等から、チーム医療、地域包括ケアにおける他職種の機能および看護専門職の役割・機能について考える。 (講義・演習)</p>						長屋 吉川 (機能看護学教員)	
5-6	3. 包括的マネジメントを果たすリーダーシップ・メンバーシップ	<p>多職種連携におけるメンバーシップとリーダーシップ、チームの関係づくりや意思決定のためのコミュニケーションを理解する。 (講義・ディスカッション)</p>						古澤 太田 (機能看護学教員)	
7-8	4. 保健医療福祉連携と看護専門職の役割	<p>保健医療福祉連携のあり方と看護専門職の役割について理解を深める。 (講義・ディスカッション)</p>						米増 安田 (機能看護学教員)	
9-12	III 学習の統合	<p>保健医療福祉連携において利用者中心の看護を行うために、看護専門職として担うべき役割と責任について考え、看護専門職の包括的マネジメントのあり方について理解を深める。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・I～IIの学びを統合してレポートを作成する。</li> <li>・レポートをもとにディスカッションし、理解を深める。</li> </ul> <p>(課題レポート作成・ディスカッション)</p>						橋本 古澤 (機能看護学教員)	
評価方法	授業への参加・貢献（グループ演習などへの参加状況）30%、授業終了時のミニレポート30%、課題レポート40%の配分で評価する。								
参考文献と資料	授業にて提示								
事前準備	機能看護方法2、機能看護方法3を十分復習しておくこと。								
受講要件									